



Topic. 特定非営利活動法人 さがの樹エコトープSATOMORI



表紙面からの続き

プ：SATOMORIが設立するまでは、植樹イベント後の維持管理は、あまりされていなかったのですか？
 田：そうですね。植樹するときは300人も400人も集まって植えるわけですけど、植えっぱなしになってしまっただけで、あまりにも放置してしまうと苗木よりも雑草などが伸び放題になってしまい、成長を妨げてしまいます。また、獣が寝み付き農作物に影響を与えてしまう恐れがあります。でも、しっかりと維持管理をしていくと高潮や塩害防止などに効果的な防潮林になり、景観や生物多様性も向上します。

プ：なるほど！！佐賀は、干潟やクリークなど水に関することは注目をされるけれど、森の整備にも注目が必要なのですね。

田：森には素晴らしい機能があります。落葉して腐食すると腐葉土になります。



有明海岸のもりづくり集合写真

その腐葉土に雨が降って、川へ流れるときに、海に必要な栄養素を運んでいきます。だから「森・川・海のつながり」といいます。北陸などでは、牡蠣の養殖のときに山に植林をしていて、利にかなったことをしています。

佐賀県の太良町でも漁師の方が山に植林も行ってみたいです。

プ：漁師さんが山の活動をするなんて、イメージがなかったです。

【ピオトープ塾の活動について※】

※生物の生息空間[Bio Tope]

田：あと、「有明海岸のもりづくり支援活動」がメインの活動になりますが、自然環境保全管理技術者育成事業ピオトープ塾も開催しています。ピオトープ管理士は、まだ県内には少ないのです。資格者を育成するという意味と生物多様性に関して正しい知識を持つ人材を増やそうという狙いでやっています。自然環境を守る活動で、外来種や希少種、法律などの正しい知識を持っていないと、生態系を壊してしまう間違った活動をしてしまうことがあります。公共工事にも、この考えを活かすことが重要だと思っています。



ピオトープ塾の様子

【希少種の移植体験会】

田：最近の活動で楽しかったのが、4月26日に実施した希少種の移植体験会です。森林を造成して工業団地とする計画がありまして、その時に環境調査をしたところ、色んな希少植物が数多く生存していました。絶滅危惧種を中心とした希少種約300株の移植体験をしましたが、これは、なかなかできない経験で私も初めてでした。参加者の中でも経験者がいなかったため、専門家に指導をしていただきながら実施しました。

プ：普段から希少種などの環境調査をしているのですか？

田：今は、調べるようになりましたね。環境影響評価法がありまして、計画の規模が大きい場合は必ず実施する必要があります。今回の場合は、絶対に調査をしないといけないわけではなかったのですが、今回は調査した方がいいということになって調査しました。

移植してから1か月後にモニタリングをして、1年に1回は、ちゃんと着床しているかを調査していきます。それが大事になってきますね。

プ：移植しても上手くいかないこともあるのですか？

田：ありますね。やはり、環境が違えば水分や日照の具合の関係がありますので、デリケートですね。朝日は良いけど西日にあたりと枯れる種類もあります。移植する前、どういう斜面にあったかを調査して把握しながら似た場所に移植をしていきます。

プ：移植って奥が深いですね。

【企業の代表、NPO法人の代表の2つ立場で】

プ：企業のCSR活動として、SATOMORIでやっている活動をしようとはしなかったのですか？

田：会社としては、棚田のボランティア活動をしています。しかし、会社として、やりにくい点がありますね。会社としては利益を出さないといけないので、色々な面でNPOの方がやりやすいことはありますね。

プ：企業では出来ないことをSATOMORIでやるということですかね？

田：そうですね。一般市民を対象として参加してもらいたいときなどは、SATOMORIで呼びかけると参加しやすい窓口になれるのではないかと思います。SATOMORIに協力するというほうが、参加しやすいのではないのでしょうか。

プ：企業とSATOMORIとしての田中さんがあると思いますが、会社の立場として今後、他の市民活動団体などとタッグを組む、協働をしていく可能性はありますか？

田：これまでも協働をしてきました。お互い様なので今後も協力していきたいですね。

プ：なるほど！他の市民活動団体と協力していくにあたって、何が重要になりますか？

田：色々な団体がありますからね。お互いの活動を理解しあえる団体同士で、足並みが揃う団体と協力していきたいですね。

プ：想いの部分で、共通していることが、重要ということですね。

田：各団体の想いは多様であり、生物多様性と同じではないかと思っています。多様な団体がつながりを持って協働して行ければ、共存の道をたどるのではないのでしょうか。

【これからの活動について】

プ：最後に、SATOMORIの今後の活動について教えてください。

田：今後は、樹木葬について取り組んでいきたいです。本当の森の中で、お墓を作っていければと・・・。

樹木葬の運営の一環で、自然体験等もできますからね。また、有明海岸のもりづくりも継続して、維持管理をしてゆきながら延長していきたいですね。

植樹後の維持管理(育樹・美化)をしていると、子どもを育てているような感じになります。今は、小学生か中学生くらいですかね(笑)

プ：そうですね。今後も育てていくのが楽しみです。今日は、ありがとうございました。



取材協力 (特非) さがの樹エコトープ SATOMORI 田中さん

編集後記

6月・・・むしむしとした梅雨の季節が近づいてきています。しかし、個人的には、大好きな季節になってきました！！そう麦！！麦秋の季節！！麦を植えるタイミングが農家さんによって違うため、佐賀平野に広がる麦のコントラストは、美しいです！！佐賀出身ではないため、初めて見たときは感動のあまり涙が・・・もう少しすると、麦秋と稲穂の共演も見ることができると、それも楽しみです。秋の紅葉以外で美しい自然のコントラストが見ることができると佐賀の景色は最高ですね！！



佐賀市市民活動プラザ広報

2018年6月号

HONOHONO

ホノホノとはハワイの言葉で“ぶらぶら”や“散歩”という意味です。



今月のTopic.

特定非営利活動法人 さがの樹エコトープSATOMORI



自然環境保全活動で生物多様性、森林環境を守り、発展を目指す特定非営利活動法人さがの樹エコトープSATOMORI。市民活動団体として、また企業として、両方の代表を務める田中和生さん。今回、その立場だからこそ語れる、それぞれの役割や想いの違いについて、お話を伺いました。

【NPO法人を設立するきっかけと有明海岸のもりづくり支援活動について】

プラザ (以下：プ)：今日は、よろしくお願ひします。さっそくですが、設立のきっかけや活動について教えてください。

田中さん (以下：田)：「有明海岸のもりづくり」として、育樹・美化活動をしています。植樹イベント後の維持管理が地元の方に任せっきりになっていました。行政や地域の方との打合せのとき、「植えるだけでなく、維持管理をしていく組織が必要だ」という声がありまして、私自身もそのことは以前から関心を持っていました。植樹とその後の維持管理をしていく役割として、特定非営利活動法人さがの樹エコトープSATOMORI (以下：SATOMORI) を立ち上げるキッカケになりました。

続きは、広報誌裏面のTOPICへ

佐賀市市民活動プラザ

開館時間 9時～22時 年末年始以外無休
 会議室の利用や掲載内容に関する問い合わせは
 佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商エビル7F
 TEL：0952-40-2002 FAX：0952-40-2011
 ホームページ：http://www.tsunasaga.jp/plaza/
 Facebook：https://www.facebook.com/tsunasaga.plaza



佐賀市市民活動プラザ



プラザからのお知らせ



ロジカルシンキングを活かした事業づくり

日時：平成30年6月24日（日）13:30～16:30（受付13:00～）

場所：佐賀市市民活動プラザ 4F 会議室G+A

対象：市民活動団体や学生団体、地域活動やまちづくりに関心がある方

- ✓ 取り組むべき社会課題を整理したい
- ✓ 目標達成への事業プランを考えたい
- ✓ 助成や補助制度へ事業提案を考えている

講師紹介

内容：①ロジカルシンキング セミナー・ワークショップ
神田橋 幸治さん

②相談会および名刺交換会
神田橋 幸治さん
佐賀市市民活動プラザ 相談支援員
(秋山 翔太郎、徳永 統一朗ほか)



神田橋 幸治 さん
ビジネスデザインラボ
Fukuoka D.C.

平成30年度 第2回 いとばたかいぎ開催 予告

ゲスト：佐賀ファシリテーション・カフェ（予定）

開催日時などの詳細が、決まりました。
後日プラザのホームページ、Facebookなどで発表致します。
お楽しみに！！

カラー印刷半額キャンペーン

期間限定ですので、お見逃しなく！

期間：6月の偶数日

(2日 4日 6日 8日 10日 12日 14日 16日 18日 20日 22日 24日 26日 28日 30日)

A4カラー 30円/枚 ➡ 15円/枚 (グロス紙17円)

A3カラー 50円/枚 ➡ 25円/枚 (グロス紙29円)

プラザ新メンバーの紹介

芦田 貴志雄（あしだ きしお）です！！
佐賀市市民活動プラザには、毎週木曜日と金曜日（原則）の9時～17時30分に来ています。県庁でNPO法人設立・相談を担当していました。NPO法人のことについて、遠慮なくお問い合わせください。



助成金情報



締切	助成金支援タイトル	分野	募集团体
6/8	平成30年度 水源地域団体等活動支援事業	環境まちづくり	水源地域連携活性化促進協議会
6/15	「さが・子ども未来応援基金」2018年度助成	まちづくり	公益財団法人 佐賀未来創造基金
6/15	ヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援	福祉	特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド ファイザープログラム事務局
6/27	こども食堂拠点整備応援プロジェクト	福祉	一般社団法人 全国食支援活動協力会
6/30	地域支え合い活動助成プログラム	福祉	一般社団法人 全国食支援活動協力会事務局
6/30	ボランティアグループ等が行う事業への助成	福祉	公益財団法人 太陽生命厚生財団事務局
7/2	地域いきいきさが・ふれあい基金	福祉	公益財団法人 佐賀県地域福祉振興基金
7/4	平成30年度あしたのまちくらしづくり活動賞	まちづくり	公益財団法人 あしたの日本を創る協会

※詳しくは、市民活動プラザのHPをご覧ください。メールマガジンでも配信しております。

ボランティア情報

締切	募集名	内容	分野	お問い合わせ
随時	地球市民の会「チャリティーショップボランティア」	・寄付頂いた洋服等の仕分け、値段付け ・イベント（出張出店等）の企画、運営等	教育支援	認定特定非営利活動法人 地球市民の会
6/27	世界一大きな授業 2018 先生役募集	学校の先生でなくても「授業をやってみよう」という方であれば、誰でも先生役になる事ができます。	社会教育	プラン・インターナショナル・ジャパン内「世界一大きな授業」事務局

イベント情報

日時	イベント名	料金	場所	お問い合わせ
6/3	子どもの居場所開設への一歩を踏み出してみませんか？	無料	佐賀市青少年センター 大会議室 (佐賀市松原2丁目2-27 佐賀バレエミュージアム 3階)	さが・子ども未来応援プロジェクト 実行委員会 TEL 090-9482-4434
6/10	「難病の日」制定記念イベント	無料 (要申込)	佐賀県駅北館 3階ホール (佐賀市神野東2丁目6-10)	認定NPO法人 佐賀県難病支援ネットワーク TEL 0952-97-9632
6/30	笑って考えよう 生活のこと 仕事のこと 未来のこと	無料	アバンセホール (佐賀市天神3丁目2-11)	佐賀県立男女共同参画センター (アバンセ)事業部 TEL 0952-26-0011